

# 「サクラマチ」商業施設内に「マイナンバーカードサテライトセンター」を開設 再開発ビル「空き店舗」の穴埋めに毎月 187 万円の家賃

## すすまない「マイナンバーカード」取得推進に多額の税金

2015年10月開始のマイナンバー制度は、導入から5年半です。現在熊本市の取得率は、34%です（全国平均28%）政府は、2023年3月までに100%の取得をめざしていますが、5年半で3割程度しかできなかつたものを、あと2年で100%に引き上げるのは至難の業です。

熊本市の2021年度当初予算には、マイナンバー制度推進のために10億9,800万円が計上

## 国民が願う制度なら、取得推進に数10億円もいらぬ

問題だらけの制度故、推進に多額の税金が使われています。国民が自ら取得すれば全く必要のない無駄な費用です。

されています。

マイナンバー制度には、個人情報保護や個人情報の漏洩、戸籍情報・預金口座等の情報との紐づけで収集されたデータを国や企業が勝手に利用する危険など、数々の問題点があり、取得がすすんでいません。国民の個人データ保護の権利を奪う問題だらけの制度を国民に強制するようなことに、多額の税金投入は許されません。

多額の税金投入で建設した再開発ビルの空店舗解消に、またまた税金を使うことにも、市民の理解は得難いと思われま

## あまりにも高い再開発ビルの「サテライトセンター」設置

【設置場所】サクラマチクマモト地下1階（約45坪・2区画）

【業務開始】2021年3月19日

【業務内容】カード交付、申請受付・写真撮影、カード・電子証明書更新、マイナポイント予約、カード普及のPR

【運営委託業者】（株）キャリアリンク 【委託費】4,800万円

【賃借料】月額1,863,675円（相手方：九州産交ランドマーク）

\*「サテライトセンター」設置・運営に年間5,000万円も使われます。賃借料だけで年間約2,236万円払うのは、再開発ビル内のためです。

【控室から】  
熊本地震から5年

なすまどか



5年前、長女と家の中で遊んでいた時、目の前の壁にひびが入った直後、体験したことのない激しい揺れに襲われ、思わず長女の体に覆いかぶさったことを思い出します。二日後の本震では、ガスの臭いが充満する暗闇の中、子どもたちを広場に必死に連れて行った記憶は今でも忘れられません。現在、倒壊した家屋の後には、新しい家が建ち、被災した熊本城の改修も一歩一歩進んでいます。熊本の街並みを見れば、復興が進んでいるように見えますが、人の心や生活の実態は、まだまだ地震の影響を残しているように感じます。Aさんは、屋根に被害を受け、一部損壊の認定を受けたものの、わずかな年金では修繕が出来ないまま、今現在も被災した自宅で生活しています。Bさんは、仮設住宅の退去が迫られ、かろうじて見つけた地震前よりも3万円も高いアパートでの暮らしを余儀なくされ、厳しい生活を送っています。Cさんは、住み慣れた地域を離れ、「なかなか話し手ができない」と寂しい思いをしています。熊本地震から5年がたちますが、住民の実態をしっかりとつかみ、まだまだ必要な支援を続けていく必要があります。引き続き、頑張る決意です。

## 日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階

発行：日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまどか

NO. 1231

2021年4月25日

電話 328-2656

FAX 359-5047



メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団

検索



\*お詫びと訂正 市議会だより4月4日号裏面の「本会議の手話通訳画面表示」について、「視覚障がい者への」は「聴覚障がい者」が正しく、お詫びして訂正いたします。

# 熊本城「天守閣」が復旧、4月26日から公開

## 特別史跡「熊本城」の中心的存在として、文化的価値が尊重される活用を



熊本地震発生から、今年4月で丸5年を迎えます。この度完成し、4月19日に内覧会が行われました。

本丸復旧工事は、「その1」から「その15」までに分けて工事が行われてきました。今回の復旧工事費は総額86億円です。(工事：70億、展示物：10億、測量設計：6億) 本体工事を「大林組」、展示物を「野村丹青社・乃村工芸社 JV」が担当しました。

### 熊本城の歴史に引き込まれる充実した展示



「御上段模型」↑

「鯨瓦」↓



「天守軸組模型」↑

天守閣は、B1F 穴蔵部分から中に入ります。1F～4F が展示スペースになっています。加藤時代・細川時代・近代・現代と、歴史に沿った展示は、CG も駆使し、楽しめる内容となっています。古文書のレプリカや熊本城の建築もわかる模型もあり、「熊本城公式アプリ」を使い展示の解説を聞くこともできます。

### 絶景、最上階からの眺望



### 文化財としての価値を損ねないための取り組み

#### 「熊本城調査研究センター」の果たしている役割

熊本城総合事務所には、「熊本城調査研究センター」が設置されています。(職員17名)

主な業務は、

- (1) 熊本城の災害復旧では、学術的な調査研究を行い、記録します。工事では、文化財としての価値を損ねないよう助言・指導を行います。
- (2) 熊本城と城下町の総合的な調査研究を行います。  
(資料の収集、保存、報告書刊行、普及啓発)

(3) 熊本城一帯の保存整備計画をつくります。現在、千葉城地区の保存活用を検討中。

(4) 「特別史跡熊本城跡保存活用委員会」「熊本城文化財修復検討委員会」を開催する。

以上のように、特別史跡「熊本城」を歴史的財産・文化財として、その価値を守るための専門家集団としての大切な役割を果たしています。



### 利用料値上げは、幅広い市民の利用に逆行するもの

一方で、天守閣復旧・公開に合わせ入園料が上がります。

高校生以上	500円⇒800円
中学生以下	200円⇒300円

文化財保護法は、文化財を保存するとともに、利活用して国

民の文化的向上に資することを目的としています。幅広い市民の利用に逆行する入園料値上げは、その趣旨に反します。

値上げはやめて、高校生以下の子どもは無料とすべきです。